

ゴール目指して力強く！

第 39 回川俣町小学校水泳競技大会を開催

町内各小学校の 5、6 年生が競う小学校水泳競技大会が行われました。当日は心配された雨も降らず、絶好の大会日和となりました。子どもたちは、同級生や観客席にかけつけた保護者のみなさんの声援を背に受けながら、力強い泳ぎでゴールを目指しました。激しい水しぶきをあげながら、懸命にゴールを目指す子どもたちの姿に、大きな成長と想像以上の力強さを感じた保護者の方も多かったのではないのでしょうか。もちろん結果も大事ですが、子どもたちが一生懸命ものごとに取り組んできた過程が垣間見えるような、素晴らしい水泳競技大会でした。夏休み期間中も様々なことに挑戦して、いっぱい成長してください。

水中では自分との戦いが続く▶



— Kawamata - topics. まちのわだい



おじいちゃんの肩をトントントン…。とっても上手にできました。

織姫と彦星のように…

川俣南幼稚園のみんなが川俣光風園を訪問

川俣南幼稚園の恒例行事となっている、7月7日「七夕会」が、今年も光風園で行われました。光風園のおじいちゃん、おばあちゃんは、今年も子どもたちの元気な姿を見るとニコリ笑顔。子どもたちもこの日を心待ちにしていたようで、毎日一生懸命練習した歌や踊りを、元気に披露しました。おじいちゃん、おばあちゃんは、子どもたちから元気をもらい、子どもたちは、おじいちゃん、おばあちゃんから、優しい感謝の気持ちをもらった、あたたかい七夕会でした。

大きいプールが届いたよ

ロート製薬かるがも基金からのプレゼント

川俣南幼稚園にユニットプールが贈呈されました。これは、ロート製薬株式会社（本社大阪）の、「かるがも基金」（社員有志による積立金と会社からの支援金を原資に社会福祉活動に役立てる基金）から、園児にプレゼントされたものです。早速このプールに入った子どもたちは、新しくて、とっても大きなプールにおおはしゃぎ！ 大好きなお友達と、みんなで一緒にプールに入れることがとても楽しかったです。これから末永く、大切にに使わせていただきます。

大きいプール、ありがとうございました！▶





7/4

エコな七夕ってなに？

地球にやさしいことをたくさん学びました

川俣幼稚園で、子どもたちの地球環境を想うやさしい心を育てることを目的にした「エコ七夕」が行われました。これは福島県が主体となって行っているものです。子どもたちは、絵本の読み聞かせを聞いた後、キビタンの短冊や木工クラフトをたのしく作り、短冊を笹に飾り付けました。いつも私たちが生活している地球ですが、その環境のことは忘れがち…。子どもたちのためにも身近にできることからエコ活動をしていきたいものです。

◀ばあ！ いま、「ちきゅうだいすき」キビタン短冊をかざるところだよ！

熊本地震災害義援金

川俣陶芸会、常泉寺から熊本へ

川俣陶芸会および常泉寺より、日本赤十字社川俣分区分へ熊本地震災害義援金が届けられました。常泉寺窯で陶芸を学ぶ川俣陶芸会のみなさんが、常泉寺一門展において自らの作品を販売した売り上げ全額 97,100 円と、講師である常泉寺住職の深沼亮一さんから 50,000 円の合計 147,100 円が届けられました。お届けいただいた義援金は、日本赤十字社福島県支部を通じ、熊本県と大分県に届けられ、被災者支援や災害復旧等の各種事業に活用される予定です。



7/8

皆様のあたたかいお気持ち、ありがとうございます。



7/3

フェンシングの剣、おそろおそろ…エイッ！

銀メダリストが指導

淡路 卓選手がフェンシングの楽しさを伝授

ロンドン五輪フェンシング団体で銀メダルを獲得した淡路選手が、川俣中学校でフェンシング指導を行いました。これは福島県体育協会が、子どもたちの体力向上やフェンシングの魅力を広めることを目的に開催したものです。淡路選手は、実際に剣を使って、はじめてフェンシング競技に触れる子どもたちへ優しくフェンシングの楽しさを伝えていました。その後、中学生、高校生と実際に試合形式で対戦して、会場を盛り上げていました。

更なる進化を目指して

第4分団が小型ポンプ操法を披露

9月4日の「第40回福島県消防操法大会（小型ポンプ操法の部）」に出場する川俣町消防団第4分団（福沢地区）を激励する激励会が行われました。激励会では、大勢の団員が見守るなか、本番さながらに小型ポンプ操法が披露されました。同時に消防署南分署員による審査も行われ、披露後には講評が行われました。目標とする県大会優勝には、まだまだ技術向上が必要という厳しい内容でしたが、選手たちは更なる高みを目指し、闘志をみなぎらせていました。



7/10